

ノロウイルス感染症

特に、秋から冬にかけて幅広い年代層で急性胃腸炎を起こすウイルスです。
飲食物を介しての感染と、感染者が出したウイルスから感染する場合があります。

ドアノブ・手すり等、必要以上にさわらない

なるべく、手を口や鼻にもっていかない

ノロウイルス 感染予防の ポイント

- * 二枚貝の生食を控える
- * トイレの後の手洗いを徹底する
- * 感染者の嘔吐物・糞便等の処理を素手でしない

加熱の目安は
85℃以上・90秒以上

ノロウイルスはアルコールや石鹼では死滅しません
塩素系漂白剤しか効果がない

手洗いをして予防するだけでなく、
はじめからウイルスにふれないようにする
ことが大事です

* 同じウイルスでもインフルエンザは有機溶媒（アルコール）や界面活性剤（石鹼）で容易に死滅します

人に感染させないように、家で療養しましょう。
大学に用事がある場合には電話で連絡して、
通学しないでください。

ノロウイルス感染症と診断されたら、学校感染症
として、必要時、公欠の手続きをしてください。
学校感染症にかかったときの対応については
[こちら](#) を参考にしてください。

ノロウイルス 感染したかも と思ったら

内科の病院に行きましょう

ノロウイルスによる感染性胃腸炎

症状

吐き気 79%、嘔吐 69%、下痢 66%、発熱 37%、腹痛 10%でみられ、
成人では下痢が多い。症状のある期間は平均 24 ~ 48 時間。

検査

便検査。

感染経路

糞口感染が主要ルートであるが、汚染された水や貝を介した感染、飛沫感染
もある。症状のある期間中は便にウイルスが認められるので注意が必要。

潜伏期

1 ~ 3 日程度。

治療

病原体であるウイルスに対する薬剤はないので、対症的な処置をする。
急激な脱水に陥ることがあるので、下痢や嘔吐で欲しくなくても、
水分摂取、飲めないときには点滴で水分・電解質補給をする。



【参考リンク先】厚生労働省 ノロウイルスに関する Q&A <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/dl/131011.pdf>

【参考資料】 監修 東京都新たな感染症対策委員会：東京都感染症マニュアル 2009